

2013 年 1 月 4 日

平成 25 年 年頭挨拶

株式会社インターネットイニシアティブ  
代表取締役社長 鈴木 幸一

新年明けましておめでとうございます。

私が「インターネット」という新しい情報通信を根底から変える概念の実験を知って 50 年以上、そしてインターネットの商用化を図ろうと IIJ を設立して 21 年目を迎える。あまりに巨大な変化や革新については、その可能性や全容を知ることは難しい。ちいさな浜辺で海を眺めながら、太平洋の広さを想像するようなものである。

国家の枠組みや戦略から日々の暮らしまで、すべての仕組みを変えてしまうのが「インターネット」であると、20 年も訴え続けているのだが、わが国の場合、未だにそこまでの視野で、「インターネット」という技術革新が語られることは少ない。アメリカでは、既に産業の主役が IT になっているのだが、日本では、IT が将来の産業のエンジンとなり、主役となる技術革新であるという認識がなされていない。その間に、IT 産業の殆どの領域で、その仕組みは、アメリカ発になっているのが現状である。

インターネットという技術革新は、大航海時代の到来によって、地球が物理的、経済的なグローバル化をもたらし、500 年を超す時間軸のうえで、現在の世界をつくってきたのだが、インターネットは「情報通信」の革新によって、新たな世界のグローバル化を進展させ、まったく違った世界の歴史をつくり始めているのである。

わが国のインターネットの歴史において、過去 20 年に亘り、技術面でイニシアティブをとり続けてきた IIJ は、将来に向けて、グローバルな意味で、イニシアティブをとり続けられる存在となるよう、努力を続ける所存です。

以上